



須川湖を見下ろす三角形



栗駒山の西、そして剣岳を火口丘とする旧外輪山の西端に位置する秣岳は、標高1424m。秋田県東成瀬村の最高峰です。ちなみに秋田県の最高峰は男女岳1637m、2位が畚岳1573m、3位が大深岳1541mで、秣岳は7位となります。なお、古くは「馬糞森」と呼ばれていたようです。



草原と池塘の雲上散歩



山体崩壊によって出来た外輪山の稜線にあたるのが、このなだらかな天馬尾根。稜線上には雪田草原が広がり、高層湿原が見られます。

紅葉ひとくちメモ

栗駒山の山腹を錦に染める紅葉。紅葉の主演は灌木。赤く染まるのがサラサドウダン、コメツツジ、ミネザクラなど。黄色はミネカエデ、ダケカンバなどです。ハイマツの濃い緑がよいアクセントです。

秣岳～栗駒山縦走のお楽しみ

◎しろがね湿原の草紅葉でナウシカになる。



秣岳を越え、天馬尾根コースを進むとまもなく、広がる草原が「しろがね湿原」です。

◎栗駒のモン・サン・ミシェルを見よう！

秣岳を下り、しろがね湿原にさしかかると、小さな岩峰があります。平坦な草原と岩峰の景色を、フランスの世界遺産でもある修道院になぞらえて、そのように呼ぶ人もいます。



本家モン・サン・ミシェル

◎展望岩頭からの景色を見下ろそう。

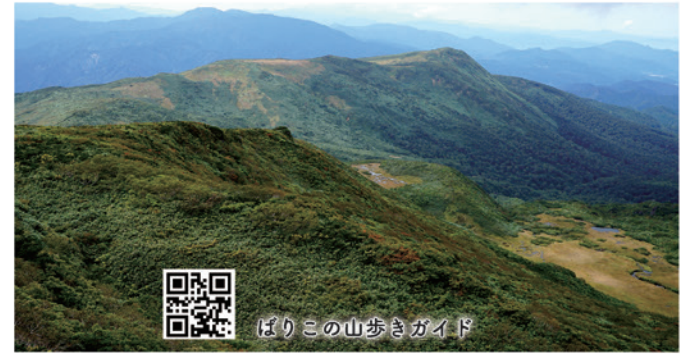
展望に恵まれた展望岩頭からは、眼下に龍泉ヶ原と呼ばれる、まるで妖精の庭のような湿原が見られます。



秣岳～栗駒山

Magusadake~Kurikomayama

天馬尾根から縦走コース



ばりこの山歩きガイド

栗駒山はこんなところ

栗駒国定公園の中核をなす古い複式火山です。山名は諸説ありますが、山頂付近の南東側に春になると駒形の雪渓が見られることに由来すると言われております。山域は秋田、岩手、宮城の3県にまたがることからかつては秋田では大日岳、岩手では須川岳、宮城では駒ヶ岳とも呼ばれていました。信仰登山の山でもあり山頂には日本武尊が東征の折に祀ったのがはじまりとされる駒形根神社の小社があります。

- 標高 : 1,626.5m 一等三角点
- 25000分の一地形図 : 栗駒山
- 場所 : 宮城県と岩手県の県境

栗駒山、
ってこんなところ

火山活動が作り出した、
複雑で美しい景観。



栗駒山から北を見下ろせば、白く昭和湖、その周辺には黄色く色づいた草原のなかにいくつかの池塘が点在する景色が広がります。
この美しい景観は約80万年前からはじまった火山活動によって生み出されたものです。
もともとはこのあたりには1800m~2000m級の山があったと言われます。これが山体崩壊を起こし、のちにこの馬蹄型の崩壊跡に生まれた剣岳火山丘もまた北側へ山体崩壊を起こしました。
須川湖や名残ヶ原などのすばらしい景観は、こうした火山活動を経てできたものです。
最新の噴火は1944年11月20日。小規模な水蒸気噴火によって昭和湖が生まれました。

◎秋に、まだ営業中かもしれない花



ミヤマアキノキリンソウ



ウメバチソウ



イワイチブ



ツルインドウ

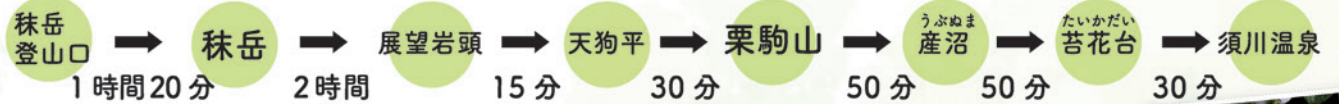
天馬尾根コース～産沼コース



のんびり参考タイム

天馬尾根コース

産沼コース



◎須川コースは硫化水素ガス濃度が高くなっているためR6年現在通行禁止です。

◎産沼コースは沢の渡渉が2回あります。



登山口



展望の良い稜岳山頂



天狗平



栗駒山山頂

ぱりこの登山ガイドオリジナル登山リーフレットご利用の方へ

このたびは当ガイドオリジナルリーフレットをダウンロードいただき誠にありがとうございます。
ご利用方法を下記にご案内いたします。ご一読いただけますようお願いいたします。

プリントアウトの設定

用紙：A4横

レイアウト：両面&短辺とじ

縮小拡大：実際のサイズ

※「用紙サイズに合わせる」ではなく
実際のサイズで設定する。

折り方

三つ折りにしてご利用ください。



著作権について

文章および画像の無断転用等は禁止しております。
お問合せは下記メールアドレスまでお願いいたします。

barry@kiu.biglobe.ne.jp

やまびより

登山ガイド企画YAMABIYORI

鶴岡由起子



登山ガイド企画YAMABIYORI